

マコモタケの出荷前調整作業

モデル事業による受委託の事例

マコモタケは「マコモ」というイネ科の水生多年草の栽培種で、根元の肥大した部分を食用にする。主に東南アジアや台湾などで栽培されており、しゃきしゃきした食感はタケノコに似て、ほのかな甘みがあるのが特徴。

岩美町では転作作物としてマコモタケが導入されており、現在では7戸の農家が約64アールで栽培している。毎年5、6月頃に植付け、10月上旬から11月上旬にかけて出荷されている。

生産組合からの受託作業で、JAが原材料を施設に搬入し、作業は施設内で行った。施設を利用する精神障がい者3人で作業した。

生産者からは、マコモタケは収穫して出荷までに行う作業が多く大変なので、皮むきをしてもらえるのは助かるとの声があった。



作業風景

座っての作業のため、立ち仕事に比べ疲労は少ない。衛生面から帽子、マスク、手袋をして作業をしている。「皮をむく作業は気持ちいい」という施設利用者もいた。

むき終わったマコモタケ

レンジ等で加熱して和え物にしたり、炒め物、天ぷらなどにして食べるとおいしい。



主な工程

草を集める作業



熊手で畦の草を集める。

運搬作業



農作業用一輪車に草を載せ運搬。

アンケート抜粋

農業者「暑い中、黙々とよくしてくださった。予想以上の作業能率と仕上がりで驚いている。」

施設「施設の作業時間に併せて作業したため、外気温の高い時間での作業となった。農家さんからねぎらいと感謝の言葉を貰ったのは大変うれしく励みになった。」

作業における配慮、指導方法のポイント

夏の暑い時期の作業は、熱中症対策などの気配りや、着替えの準備、休憩場所、作業時間の工夫なども検討する。

熊手や農作業用一輪車を使用するので、扱いに注意する。

傾斜の急な箇所は落下しないよう注意する。

作業分析

ユニット1日あたり 料金目安	1千円台	2千円台	3千円台	4千円台	5千円台	6千円台	7千円台	8千円台	9千円台	1万円以上		
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
難易度	易しい	普通	難しい	地域性	西部	中部	東部	障がいの種類	身体	知的	精神	その他

ニンニクの盤茎切り作業

モデル事業による受委託の事例

ニンニク加工食品を取り扱う食品製造業者と連携している農業参入企業からの受託作業。この企業は、耕作放棄地を利用して特別栽培により糖度の高いニンニクを栽培し、契約先の食品製造業者は熟成・発酵させた「熟成黒にんにく」を商品化している。

作業は、施設内へニンニクを搬入して行われ、収穫されたばかりのニンニクの盤茎部(根の付け根部分)を専用の刃物で切り落とし、さらに乾燥後にごみ取りなどの調整が行われた。

障がい者9人と施設職員で約2トンのニンニクを5日間で処理した。1日あたりの作業時間は4～5時間程度。



必ず、軍手などを着用して作業する。



ナイフを根っこにあてがい、ニンニクを回しながらカットしていく。

主な工程

- 1.トラクターを使って掘り起こされた落花生を引き抜く。
- 2.落花生を葉が下、実を上にした状態で並べる



アンケート抜粋

農業者「2～3年は一緒に作業をし、経験値を増やし、自立した落花生栽培を目指してほしい。」

施設「利用者の声として『楽しかった』との声が上がった。作業自体も利用者によっては問題なくできると感じた。」

作業における配慮、指導方法のポイント

作業の際はトラクターなどの機械に近づきすぎないようにする。

掘り起こされた落花生は、茎の下の部分をしっかり持って引き抜く。

作業分析

ユニット1日あたり 料金目安	1千円台	2千円台	3千円台	4千円台	5千円台	6千円台	7千円台	8千円台	9千円台	1万円以上					
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
難易度	易しい	普通	難しい	地域性			西部	中部	東部	障がいの種	障がいの類	身体的	知的	精神的	その他

落花生の収穫作業

モデル事業による受委託の事例

大山町では数十軒の農家で「大山ピーナッツ生産組合」を立ち上げ、地域ブランド「大山ピーナッツ」を特産品として生産している。作業は落花生を栽培している組合法人からの受託。

落花生の収穫は、機械で掘り起こし、作業にあたる障がい者らが手作業で引き抜き、天日乾燥のため葉を下にし、実が上になるように並べる。

こうして、2～3日程度は畑に置いて天日で乾燥し、さや取りをした後、さらにハウス等で乾燥させ、広島にある加工会社に出荷される。加工後、商品として主に道の駅「大山恵みの里」で販売されているとのこと。

今回の受託作業は、職員が3人同行し、施設の知的障がい者8人で1日作業し、12アールの畑の落花生を処理した。



主な工程

1. ケースから取り出し、専用のナイフで根っこの盤茎部分をカットする。
2. カットしたニンニクと根っこの部分に分けてケースに入れる。



ニンニクの搬入・搬出は委託農家が行った。

専用のナイフ。

アンケート抜粋

- 農業者「収穫された作物を作業所へ搬入しての作業だった。ていねいな作業だったので、次もぜひお願いしたい。」
- 施設「刃物に抵抗がある人が何名かいた。梅雨時期だったので、屋根があり風通しの良い場所が作業しやすい。」

作業における配慮、指導方法のポイント

ナイフ、はさみなどの刃物を使う作業。また、盤茎の形状に個体差があるため、安全に刃物を使いこなすための指導が必要。

臭いがあるので、風通しのよい場所で作業する。

作業分析

ユニット1日あたり 料金目安	1千円台	2千円台	3千円台	4千円台	5千円台	6千円台	7千円台	8千円台	9千円台	1万円以上				
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
難易度	易しい	普通	難しい	地域性			西部	中部	東部	障がいの種類	身体	知的	精神	その他

リンゴの袋かけ作業

モデル事業による受委託の事例

県東部地域の果樹生産農家からの受託作業。鳥取県内でも、ジョナゴールド、ふじなどの品種が生産されている。

リンゴの袋かけは、6月上旬頃までに行われる摘果作業の後、6月下旬にかけて行われる。

袋かけ作業は、まだ青く小さなリンゴの実に2重になった袋をかけていく。リンゴの実を落とさないよう注意しながら、袋口の針金をしっかりと留めていく繊細な作業。

施設職員1人と有償ボランティア1人が同行し、施設を利用する精神障がい者3人が9日間作業し、約1万枚の袋をかけた。

1日の目標枚数を設定することで、作業のペースがつかめた。休憩時間は決めず、各自が状態を確認しながら適宜休憩した。

屋外での作業が初めての施設利用者ばかりだったが、室内作業での集中力が続かないことがある利用者が午後の暑い時間帯に作業が出来たことに、施設の職員は驚いたとのこと。



主な工程

ネギの株の間にある雑草の除草

雑草を、ハサミや手で取り除き、畑の外に持ち出す。



アンケート抜粋

農業者「1人での除草は無理なので、手伝ってもらいありがたい。」

施設「草取りをする際に、疲れない格好など農家のかたから聞いて、利用者に伝えればよかったと思った。」

作業における配慮、指導方法のポイント

ネギを折ったり、傷つけないように注意する。

畝(うね)を、出来るだけ崩さないようにする。

手取りした草(スギナ等)は、管理機にからむため畑の外に持ち出す。

作業分析

ユニット1日あたり 料金目安	1千円 台	2千円 台	3千円 台	4千円 台	5千円 台	6千円 台	7千円 台	8千円 台	9千円 台	1万円 以上					
作業時期	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
難易度	易しい	普通	難しい	地域性			西部	中部	東部	障がいの 種	障がいの 類	身 体	知 的	精 神	そ 他